

無憂樹

令和7年9月号

浄尊寺
熊本市西区田崎
1-4-39
TEL・FAX
096-354-6530



浄尊寺
インスタ
グラム



@JOUSONJI

『本願力にあいぬれば』

まずは先月の大雨により被害にあわれた皆様くれぐれもご自愛ください。

今月は秋のお彼岸です。「暑さ寒さも彼岸まで」という、ことわざもありますが、最近はなかなか言えないですね。特に秋のお彼岸はまだまだ暑い日が続きます。今年は少し涼しくなってもらいたいです。

さて皆さんは「さんねんないきもの事典」という本をご存知でしょうか。我が家にもあり子供たちが好きな本の一つです

人気でシリーズ化して多く出版されています。表紙を開いたらはじめに書いてある言葉が「さんねんないきもの」とは一生けんめいなのに、どこかさんねんないきもの達のことである、と書いてあります。その通り色々ないきものの、さんねんな性質が紹介されています。

たとえば、パンダは木に登るのにはうまいが、おりられない。木の上に登ったのはいいけど

おりられずに、飼育員に救出される。パンダもいるそうです。またジンゲザメは8000本も歯が生えているがほぼ使わない。ジンゲザメの食べ物プランクトンや小さなエビなどで、これらを海水ごとのみこんで、えらにあるスポンジ状の部分でこしとって食べるので、歯は使わないそうです。このように色々ないきもの達のさんねんな性質を教えるという面白いなと思いながら息子と一緒に見ていたのですが息子「人間もいきものだよね」私「そうだね、いきものだね」息子「にんげんは何がさんねんなのかな？」私「……………」

すぐには答えられませんでした

その時親鸞聖人がお書きになられた和讃を思い出しました。

本願力にあいぬれば
むなくすぐるひとぞなき
功德の宝海みちみちて
煩惱の濁水へだてなし

「高僧和讃」
阿弥陀さまは、私たちを救わずにはおれないと願いをおこされて、そのはたらきが南無阿弥陀仏となつて一緒にくだります。南無阿弥陀仏にであつていくならば、ただただ人間として死んでいく、終わっていく、むなしのち、さんねんな人生にならない。仏として生まれいくいのち、安心してこの世をいきぬいてける人生に転じられることです。